

令和元年度第2回学校問題解決サポートセンター講演会実施報告

- 1 日時 令和元年8月1日（木曜日）午後2時から午後4時30分まで
- 2 場所 東京都子供家庭総合センター 6階大研修室
- 3 参加者数 128名
 【校種別内訳：幼稚園4、小学校32、中学校25、高等学校43、特別支援学校23、教育委員会等1】
 【職層別内訳：校長12、副校長13、主幹（主幹養護）教諭34、主任（主任養護）教諭27、教諭24
 養護教諭16、指導主事等1、その他（非常勤教員）1】
- 4 内容
 - (1) 挨拶 東京都教育相談センター次長 清水 宏
 - (2) 講演「子どもの最善の利益を実現するために～弁護士から教員へのメッセージ～」
 講師 弁護士 佐藤 香代 氏
 「事例を通して考える学校と関係機関との連携」 講師 警察OB 石橋 昭良 氏
 - (3) 質疑応答、事務連絡
- 5 講演概要
 主に一般教職員を対象に、弁護士と警察OBの先生方から御講演をいただきました。弁護士からは、子どもの権利擁護に関わる相談実践に基づいた、初期対応の原則について、警察OBからは、校種別の事例を基に、関係機関との連携について御講演をいただきました。



- 6 参加者アンケートから
 - ・保護者に理解してもらい、協力的に進めていくヒントを得ることができました。同様のケーススタディから一般則の解説のような講演は本当に分かりやすく、実践につながります。
 - ・とても具体的で、立場の異なる機関の考えが良く分かりました。
 - ・教員にとって欠ける知識（特に法律）を聴くことができ、大変有意義な内容でした。
 - ・普段の職務の見直し、活かしていくことができそうなことが、たくさんありました。